

STRIVE FOR



瀬戸SOLAN学園初等中部
2026年度第5学年 学年通信
第13号 8月7日発行

夏休みに入り、1週間が経とうとしています。それぞれ思い思いの時間を過ごし、元気な姿で休み明けに登校してくれることを教員一同楽しみにしています。以下、休み前の学校の様子を、それぞれ担任からお届けします。

【1組通信】日本人担任 鈴木より「優しさとは何か」

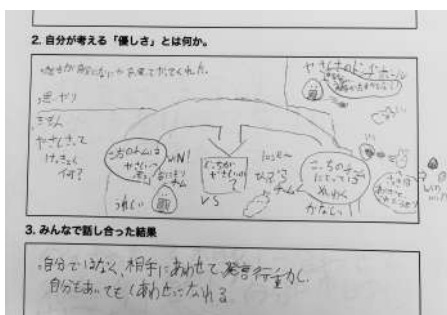
先日、道徳の授業で「優しさとは何か」をテーマに、優しさの本質について、話し合う活動に挑戦しました。

まずは、それぞれが優しさを感じた場面を共有します。「プリントを渡してくれた時に、優しいと感じた」「ゲームで負けそうな時に手伝ってくれた子が優しいと思った」「街で野良猫を助けていた人を見て、優しいなと思った」など、子どもたちは身の回りで感じた優しさをたくさん打ち明けてくれました。

子どもたちの体験談からキーワードを探っていくと、「自分ではなく、相手のために何かをしてあげること」という共通点が浮かび上がってきました。教師が「では、優しさって、ある意味自分を犠牲にするってこと？」と問いかけると、「いや、なんか違う!」と返す子どもたち。さらに詳しく考えていくと、「相手のために思って自分の何かを渡すこともあるかもしれないけど、自分も相手から何かをもらっている気がする」という発言がありました。では、何をもらっているのか――。

5年1組の結論は、「自分たちも幸せな気持ちをもっている」というものでした。「相手からありがとうと言ってもらえたり、相手のためになったことがわかると自分も気持ちがいい」と話す子に対して、「たしかに!」「そうだ!」という共感の声が多く上がりました。最終的に、「優しさとは、相手のために思って行動し、相手も自分も幸せな気持ちになること」と定義づけました。

国語辞典では、単に「おだやかで、おとなしいこと」と記載されています。しかし改めてクラスで話し合うことで、日常生活にある優しさの本質に迫ることができた子どもたち。これからも、こうした話し合いを通して言葉の意味を深め、日常生活に活かしていける学びを目指していきます。



道徳「優しさとはなにか」



書写「草原」



国語「ディベートをしよう」

【2組通信】日本人担任 樋口より 「クラス目標を、考え始めました」

改めて「どんなクラスにしたいか」をみんなで話し合いました。まずはイメージマップを使って、「こんなクラスにしたい!」という具体例をたくさん出し合いました。この活動を通して、子どもたちはクラスメイトの多様な価値観や、それぞれが大切にしたいことを互いに把握していきました。

その後、出た案を一つにまとめようとした時のことです。ある子から、「先生、なんでクラス目標を決めないといけないんですか。みんな思っていることは違うのに、なんで一つにまとめないといけないか、わからない」と、意見が上がりました。「先生が言うから、やる」ではなく、「なぜこの活動をする必要があるのか」「自分にとってどんな意味があるのか」を自発的に考えている姿が、とても頼もしいと感じました。

話し合いの結果、精神面・人間関係面・学習面・生活面の4つの視点でまとめることになりました。その中でも特に議論が白熱したのが「人間関係面」です。

「みんな違うからこそ、なかよくなりたいんだ」

「でも、『みんな仲良く』にすると、結局は発言権の大きい人の意見を押し通すことになるんじゃない?」

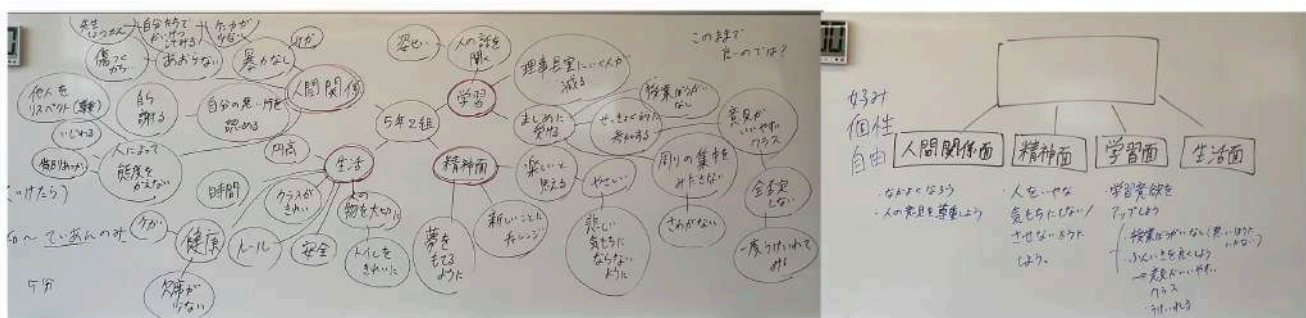
「なら、『人の意見を尊重する』ってこと?」

「でもそれって、一步間違えれば『みんなそれぞれ違うから分かり合えない(バラバラでいい)』ってことにならない?」

このように、答えを出すのが難しい、本質を突くような発言が次々と飛び出しました。私からは、「『個人の自由か、集団のまとまり、どちらが大切か』という二項対立ではない」と伝えた上で、民主主義の考え方について触れ、「ひとりずつ意見が違うからこそ、全員が『これなら納得できる』という大きな目標を見つけられたら素敵だね。それがクラス目標をつくる意味だと思う」という話をしました。

現在、かなり時間をかけてクラス目標を話し合っています。(まだ決まっていません。)この過程のなかで、子どもたちは「価値観をぶつけ合うことの意義」「民主主義とは何か」、そして「議論・対話・会話・討論の違い」など大切なことを肌で感じ、学んでいます。

子どもたち一人ひとりが納得し、全員で創り上げるクラス目標がどんなものになるのか、私も今から楽しみです。



イメージマップで、価値観を共有

→

まとめる

【3組通信】日本人担任 小山より 「自分の価値観が未来のテーマにつながる」

道徳では、「相互理解・寛容」をテーマに学習を行いました。授業では「価値観カード」を使い、自分が大切にしていることを選びながら、自分自身の価値観について考えました。その後、友達と交流し、お互いの価値観を伝え合いました。「同じことを大切にしている人もいれば、自分とは違う考えをもっている人もいる」ということに気付き、「どの考えが正しい・間違っているではなく、一人一人違っていい」ということを学びました。

子どもたちは、「友達の考えを知ることができて面白かった」「富も大切だけど、それ以上に愛や人とのつながりを大切にしたい」「相手の価値観を認めることが大切だと感じた」など、多くの学びを得ることができました。自分の価値観を知ることとは、「自分は何に興味や関心をもっているのか」「どのようなことを大切にしたいのか」を見つめ直すきっかけになります。これは、探究学習で自分らしいテーマを見つけることにもつながる大切な学びです。今回の授業で得た気づきを生かし、自分らしい探究へとつなげていってほしいと思います。

自分が大切にしている価値観は何かを考えている様子



クラスイベントで鬼ごっこ



国語授業で古典を学ぶ



書写の授業